

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 日 作成  
 20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名	認可外保育所入所児童等健康管理助成事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 青木洋治
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり	所属課	子育て支援課	担当者名 合志義浩
	基本事業	58	子育てと仕事の両立支援	所属班	子ども保育班	(内線) 2155
				法令根拠	熊本県認可外保育施設児童等健康管理支援事業 合志市認可外保育施設児童等健康管理支援事業補助金交付要綱	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	12
	1	3	2	3	10577			コスト削減優先度評価結果	6

事業期間  単年度のみ  単年度繰返(開始年度 年度)  期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

**【事業の内容】**  
 認可外保育所へ入所している児童及び職員の健康診断経費を助成する。

**【業務の流れ】**  
 ①補助金交付申請書(添付:状況報告書・事業計画書)の受付、審査②交付決定伺い③交付決定通知書④実績報告書(添付:事業実績調書)⑤補助金交付請求書⑥補助金支払(支出負担行為、支出命令書等)

**【主な予算費目】**  
 1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 児童:5園(124人)に対して273000円の助成を行った。 職員:3園(13人)に対して63000円の助成を行った。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) H20年度と同様。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・認可外保育所の入所児童 ・ " 保育士	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) → ア 認可外保育所数 園 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 入所児童及び保育士の健康を維持できる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) → ア 入所児童数(4月1日計画時、3月31日実績時) 人 イ 保育士数(4月1日計画時、3月31日実績時) 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) ・安心して仕事ができる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) → ア 受診児童数(受診延人数) イ 受診保育士数(受診延人数)
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) → ア 保育所に入所している児童数/保育所の入所を必要とする児童数 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 のみ 記載)  0          0          0	
		都道府県支出金	千円	129	174	228	56	233	233		
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	千円	115	151	196	297	194	194			
	(A) 事業費計	千円	244	325	424	353	427	427	0		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費										
正規職員従事人数	人	4	4	4	5	4	4	4			
延べ業務時間	時間	50	50	50	47	50	50	50			
(B)人件費計	千円	199	199	199	187	199	199	199			
トータルコスト(A)+(B)	千円	443	524	623	540	626	626	199			

活動指標	ア 園		5	5	5	5	5	5	目 標 合 計 値 画  22 年 度
対象指標	ア 人	152	164	160	124	160	160		
	イ 人	23	27	17	13	23	23		
成果指標	ア	275	369	450	422	450	450		
	イ	11	15	17	13	23	23		
上位成果指標	ア %		97.4	100	94.9	95	98	100	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
 基準を満たす認可外保育施設に入所している児童に対し定期的に健康診断をすることにより、健康管理の一層の向上を図ることを目的に、平成12年度より実施された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 平成12年度には県でも同様な要項が制定された。町要綱では平成14年度に第2条(対象施設:2A(2)中の看護婦→看護師に変更)が改正され、平成17年度からは県要領の改正に伴い職員の健康診断も追加された。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 特別要望等はない。

事務事業名	認可外保育所入所児童等健康管理助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	---------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 市の目標とする「子育て支援日本一のまちづくり」に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 認可外保育所の入所児童及び保育士の健康管理の面で妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 市内の基準を満たす認可保育施設は全て対象であり、全入所児童及び保育士が対象であるので、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 市内の基準を満たす認可外保育施設は全て申請しており、入所児童及び保育士の受診状況も良いので、向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 助成がなくなると、受診の回数等が減り、健康管理で不安が残る。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 上位事業に県の事業があり、市への助成もあるため、他に手段はない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 助成の手続きとしては、交付申請に伴う審査決定及び支払と実績報告に伴う確定事務という最低限の事務のため、削減余地はない
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 市内の基準を満たす認可外保育施設は全て対象であり、住所要件に関係なく全入所児童及び保育士が対象であるが、上位に県事業があり市への助成があるので、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 特になし	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

特になし

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	11	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )